

ケムトレイル——気象操作のつくり出す惑星の破局

Cosmicconvergence2012

September 11, 2013

地球惑星は、過去百年以上ものあいだ、多くのさまざまな科学的実験に取り囲まれてきた。応用科学と技術の量子飛躍が、トップ・シークレットや、大気圏、地表、地殻の深部で行われる高度に極秘の作戦行動の、文字通りの爆発を促してきた。しかし、生物世界に加えられてきた全方位的な損傷の深さにおいて、DARPA（国防高等研究計画局）の支援する気象操作(geo-engineering)計画ほど徹底したものはない。

この秘密の気象操作計画のほんの一部として、ケムトレイルと呼ばれるものがある。ケムトレイルを知らない人々のために言っておくと、それは、飛行中のジェットエンジンから排出される、通常の水蒸気のコントレイル（飛行機雲）と混同してはならない。次は、それ専用の装備をもつ特別のジェット機から撒かれたばかりの、夥しいケムトレイルの写真である。



なんと政府はこうしたケムトレイルを通常のコントレイルだと説明した！！

ケムトレイルは組織的に地球環境を破壊している

この記事を読むすべての方々は、人間の住環境を正面から破壊することに関しては、気象

操作に勝るものはなく、それはこの惑星を完全に生命——人間、動物、植物すべての生命——に適さないものにする潜在能力をもっていることを理解しておいてほしい。気象操作は非常に多くの異なった面をもっていて、その一つひとつが、地球の大気圏、地表の環境全体、地下の地質や世界中の海、すべてのレベルにとって極度に有害である。

この気象操作攻撃の影響の浸透性があまりにも危険であり、かつ理解されていないので、この方面の知識をもっている我々の仲間は、今、文字通り“真夜中の一分前”ではないかと思っている。読者のために私たちは、短い写真ドキュメンタリーをここに提供し、世界中の空に、くまなく、容赦なく、ケムトレイルが撒かれている現実について、まず疑念を払っていただきたいと思う。











Utah Chemtrails November 2003





もうこれくらいで十分であろう。事実は分っていただけたと思う。もし納得できなければ、さらに先を読んでもらうよりほかない。

ところで正確にケムトレイルとは何か？ 彼らが我々の頭上に撒いている毒性物質とはどんなものか？

「ケムトレイル (chemtrail) という言葉は、コントレイル (contrail、飛行機雲) がコンデンセーション・トレイル (水凝結の跡) を約めたように、ケミカル (化学物質) とトレイル (跡) をくっつけたものである。この言葉は、農薬空中散布、人工降雨、スカイ・ライティング、あるいは空中消火活動のような、他の形の空中散布については使わない。この言葉は特定の、通常の飛行機雲には見出されない化学物質の、高空での組織的な放出によって生じ、独特の空の航跡として現れる空中の跡を指すものである。

「航空機の残す、このケムトレイルという航跡は、化学的あるいは生物学的な作用をもつもので、一般大衆に目的を明かさないうで、さまざまな政府役人の指図によって、高空域に意図的に撒かれるものである。

「ケムトレイルの存在・・・何時間も滞留し、十文字や碁盤縞や平行線のパターンを作り、最後には混じり合って大きな雲となる気流のような現象・・・。その存在を主張する人々は、ケムトレイルを見分けるしるしとして、この雲の中の可視的な色のスペクトルの存在、単一の地域への航跡の異常な集中、あるいは通常でない高さや場所を飛ぶ、無印または軍の航空機の残していく航跡などを見ている。—ウィキペディア

(ウィキペディアが、たとえ表面的でもこのような正確な描写をするとき、この隠れた作戦には、最上の研究者でもはっきり分らなかった、もっと多くのことがあるだろうと思える。)

もっと深い議論については、ケムトレイルを科学的に、可能な限り広範囲に分析してきた専門家たちに委ねることにしよう。その過程で検出された科学成分については、次のような既知の毒物はもはや否定しようがない。次のウェブサイトは、この 2 つの質問に答えるための、有効な出発点となる——

What in the World Are They Spraying? Why in the World Are They Spraying?

(ともに、動画ビデオ・ドキュメンタリーのタイトル)

ここに、ケムトレイル散布によって日常的にばら撒かれている化学物質のリストがある—



Queensland
Government

CaSS | Forensic and Scientific Services
A DIVISION OF FORENSIC SCIENCES

Enquiries
Phone : (+61 7) 3274 0000
Fax : (+61 7) 3274 9181

CLIENT : Organic Vegetable Gardens
PO Box 3502
Auravilla Fair
Southport QLD 4215

CONTACT : Ray Sperry

Package No. : SF0021430
Client Order No. : RAY_SF0021430
Date Sampled : 27-Jan-2019
Date Received : 25-Jan-2019
Date Started : 26-Jan-2019
Date Completed : 06-Feb-2019
QFSS Ref. : 10NA901-10NA904 TKP2

ANALYTICAL REPORT

total over
2153.7

Report 10NA901-10NA904 : TKP2 Continued:

Lab. Ref.				10NA901	10NA902	10NA903	10NA904
Client Reference			Over amt in red	AA 15,000L TANK	RA 20m RAIN	RA2 50m RAIN	S Bottle
Sample	Safe level in green			Water	Water	Water	Water
Method	Analyte by ICPMS	Safe level	Units	Over amt	Over amt	Over amt	
	Aluminium	.2	µg/L	110 22	1600 320	60 12	30 6
	Arsenic	.007	µg/L	42 < 0.3	38 7.6	42 < 0.3	42 < 0.3
	Barium	.7	µg/L	60 2	60 42	1.4 1	.02
	Beryllium		µg/L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
	Boron	.4	µg/L	40 16	575 230	50 20	12 5
	Cadmium		µg/L	0.2	0.4	0.1	< 0.1
	Chromium		µg/L	1.6	3.3	1.3	1.2
	Cobalt		µg/L	0.1	3.1	0.1	< 0.1
	Copper	.2	µg/L	130 26	360 72	30 6	33 10
18302	Iron	.3	µg/L	143 43	976 293	53 16	40 12
	Lead		µg/L	3.5	2.3	0.1	0.1
18302	Lithium		µg/L	.02	4	0.2	.01
	Manganese	.3	µg/L	10 3	1766 530	6 2	3 1
	Mercury		µg/L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
	Molybdenum		µg/L	0.2	0.8	0.1	0.1
	Nickel	.02	µg/L	410 8.2	1050 1.0	85 1.7	50 1.0
	Selenium	.01	µg/L	100 1.0	300 3.0	100 1.0	100 1.0
	Silver		µg/L	< 1.0	18.0	117.0	1.0
	Strontium		µg/L	19	230	4	1
18302	Thallium		µg/L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
	Tin		µg/L	5.4	0.4	0.2	0.4
	Uranium		µg/L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
	Vanadium		µg/L	0.3	2.7	0.1	0.1
	Zinc	.3	µg/L	326 98	1233 370	63 19	13 4

247.8 2153.7

過去十年間にわたる全米の、独立したケムトレイル・テストから、危険な、極端に毒性の強い構成物が明らかになった——バリウム、ナノ・アルミニウム被膜のガラス繊維 (CHAFF として知られる)、放射性トリウム、カドミウム、クロミウム、ニッケル、乾燥血液、かびの孢子、黄色菌マイコトクシン、エチレン・ディブロマイド、ポリマー・ファイバーなど。バリウムの毒性はヒ素に比肩する。バリウムは心臓に悪影響を与えることが知られている。アルミニウムは脳の機能を破壊すると歴史的に知られている。独立した研究者や実験所が、こうした毒物の桁外れのレベルを示し続けている。何人かの“匿名の”役人たちは、この現行のエアロゾル散布を認めている。

我々は決して、ケムトレイルに含まれる化学物質を吸い込み、摂取することから生ずる、

惑星全体に及ぶ人の健康への絶え間ない危害を、小さく見るつもりはない。バリウム塩や一酸化アルミニウム、また蒸気化した水銀、ストロンチウム 90、放射性トリウムが世界の空にまき散らされることから、どんなよいことが生まれるだろうか？ 人間だけでなく生物全体の健康への、極端に有害な影響があることは自明である。

しかし、このエッセイの目的は、人間による生物の操作について、彼らの計画をさらに明らかにすることではない。そうでなく、この論文の狙いは、ジオ・エンジニアリングがこの惑星とその大気圏にもたらそうとしている、最も深く根本的な変化を、はっきり見えるようにすることである。この 2 つが後戻りできないほどに永遠に改変されたときには、人類は**絶滅レベルの出来事** (extinction level event, ELE) に直面することになる。絶えず進行する、緩慢で陰険で、レーダーに映らず、生物にとって有害な動きだが、それにもかかわらず ELE である。

ジオ・エンジニアリング (気象操作) は、高度に発達した形態の、応用科学と技術を含む言葉である——そこには、さまざまな最新の化学作用物や合成素材、科学による物理的現実の変形があり、リヴァース・エンジニアリングによる 1 セットのモダリティが組合わされて、特定の結果をもたらすものもある。この本質的に危険で、向こう見ずな実験の複雑さのために、いつでも、どんな場所でも、実行することのできる無限数の置き換え (並べ替え、permutations) がある。したがって、物事が間違っ起こる機会の数は、指数関数的に強化されることになる。

もちろん、“バタフライ効果” は、ジオ・エンジニアリングの過程において、新しい、劇的な意味を帯びる——我々の青い地球では、何事も真空の中では起こらないからである。実は、科学者共同体が天候の操作をより多く試みるほど (つまりハリケーンや竜巻を操作し、雨雲を作るなど)、ブーメラン効果がより強力になる。

「どこかで蝶が羽ばたき、風向きが変わり、温暖前線が西アフリカ海岸沖で寒冷前線にぶつかる。そうすると、あなたが知らない間に、ハリケーンがあなたのすぐ近くに來ている。嵐が来ると誰も予想できないうちに、時すでに遅く、ハッチに当て板をして、その場しのぎをするしかなくなる。」—Karen Marie Moning, *Darkfever*

コントロールは霧消するが、ケムトレイルは増殖する

実際のエアロゾル散布が、特別の装置をもつ飛行機から噴射される所を、見たことのない人たちのために、ここに何枚かの写真をお見せしよう。我々は単に、この地球規模のケムトレイル作戦は、ブラジルかボツワナで羽ばたく蝶よりも、確かに“少しばかり”結

果が大きいことを強調したいだけである。

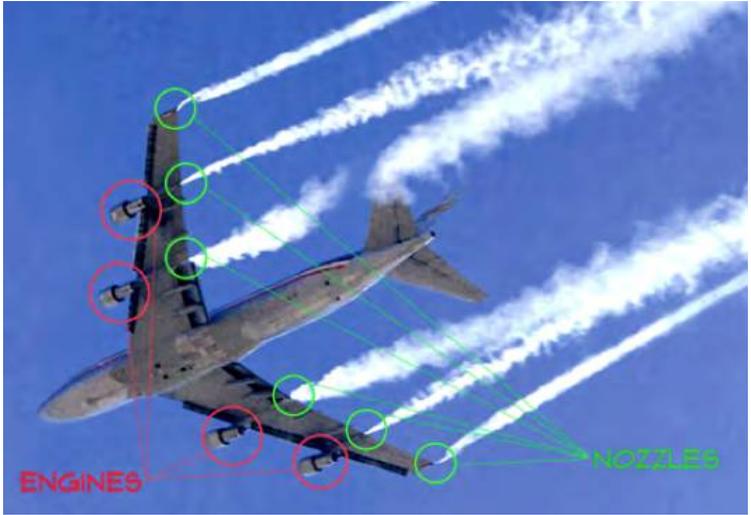






			
<p><i>In the skies of Ontario a military aircraft sprays a plume of unknown substances. See "chemtrails" at: www.Holmestead.ca</i></p> <p><small>© 2007 www.Holmestead.ca</small></p>		<p><i>In the skies of Ontario a military aircraft sprays a plume of unknown substances. See "chemtrails" at: www.Holmestead.ca</i></p> <p><small>© 2007 www.Holmestead.ca</small></p>	







HAARP(高周波活性オーロラ調査計画)によって作り出された周波数が、ケムトレイルでいっぱい空に伝わる

過去数年間にわたるケムトレイル散布の急増は、操作されている“新しい”大気圏に周波数を広く分布させる機会を大幅に増加させた。これらの周波数は多くの異なった結果を生み出すように調整されていて、その最も重要なのは、いま地球上いたる所で現れている地球温暖化を遅らせることである。

何世紀もかけて確立された天候パターンを、このように激変させようとする不吉な試みのために、我々は今、かつて雨が豊富だったところに旱魃を見、かつて雨が降らなかった所にモンスーンを見ている。

たとえば、北カリフォルニアとオレゴン州には、6か月も雨の降らなかった地域がある。この地域の森林は、水不足と、その結果、病気にかかり易くなり弱ったために、文字通り死に絶えつつある。

同様に、フロリダや南ジョージアのような南東部には、近代史上初めて、モンスーンの季節を経験した地域がある。この両方の激しい変化の気象学的な力学は、直接、気象操作によって生じたものである。

実はこれは非常に複雑で、時にはほとんど信じられないような話なのだが、世界中の天候パターンが、この極端に近視眼的な大気操作によって、劇的に変わってしまったことを証明する、決定的な証拠が次々に積み上げられている。不可避的な付随的ダメージ——これら隈なく拡散するケムトレイル（と気象操作技術）によって起こる、有害な副作用と予期しない結果——は永遠に地球環境を荒廃させている。

地球を取り巻く一つの全体として評価した場合、地球惑星の天候パターンは、もはや元の状態に戻ることはできないであろうと予測できる。Cosmic Convergence Research Group(CCRG)が、ジオ・エンジニアリングとケムトレイルについて、このシリーズを掲載し始めたのはこの理由からである。

地球の生命維持は、いま非常に危険な状態にある

おそらくこの気象操作問題ほど、地上の生命維持に対する大きな脅威はない。その主な理由の一つは、それが世界の各国政府によって隠蔽され、否定されていることである。したがってそれは、勢いを減ずることなく継続し、地球が回転するごとに拡大する。

この類例のない破壊的な結果を知っており、これを目撃し、また抗議してきた私たちは、激しい抵抗に遭ってきた。私たちは、この想像を絶する妨害の理由を深く探究し、人類がこのアジェンダを未来永劫、終わらせることに、すべてがかかっていることを明らかにするつもりである。

やがてその理由が明らかになるが、CCRGは、次の2本のビデオを見ることと拡散することを強く奨励する——

What in the World Are They Spraying?

Why in the World Are They Spraying? (日本語字幕付きあり)

結論

我々がかろうじてその表面を搔いただけであるのに、どうして、この気象操作についての序章に結論を与えることができるだろうか？

何千年にもわたって生き残った氷河が、記録的な速度で溶けはじめ、極地のアイスクャップが目の前で崩壊していくとき、人は事態の深刻さを理解し始める。過去10年間の破局的な天候異変を客観的に評価するとしたら、勢いをとめることのできない幾つかの力が働いていることが、容易く見てとれるだろう。それを食い止めようとするどんな試みも、事態をもっと悪化させるだけであり、現にそうになっている。

自然の諸力に対して神を演じようとする人間の傲慢のために、正常なバランスが回復不能に崩れてしまった。科学者共同体が事態を修復するために、“薬学的アプローチ”を続けている間は、さらに悪いシナリオが次々に動き出すことは明らかである。そのコースを辿らねばならない惑星が、変容していく症状を治療しようとすることによって、責任ある政府や企業は、本質的に、火に油を注ぐ結果を招いた。地球温暖化（あるいは地球気象変化、どちらでもよい）の“火”は、母なる地球が、更新と再生の、要求される期間を完了するまでは、消えることはないであろう。

今、この惑星の文明が、この惑星の変容の必然的な過程に、邪魔をするのでなく、参加することが求められている。

Cosmic Convergence Research Group

September 11, 2013

著者による注——

このエッセイの最大のポイントは、気象操作はおそらく生命世界に対する、ただ一つ最大の脅威だということである。その浸透力と深さのために、ジオ・エンジニアリングは、その多くが既に何十年も前から進行中だった、多数の自己破壊的なフィードバックの環（ループ）を永続させる可能性をもっている。

特に 2012 年と破局思想のコンテキストにおいて考えてみるならば、ジオ・エンジニアリングは、地球惑星の背骨を折る最後の藁になる可能性がある。なぜか？ それは、非常に多くの他の進行中の出来事や過程が集中している（convergence）からである——人工のものも、地球上や太陽系内部で自然に起こっているものも含めて。そしてこれが、この惑星の生命環境にかなりのストレスを与えるからである。

エコシステムの大多数が世界で崩壊し始めると、そのような最後の藁が歴史になる。そのそれぞれが最終的には、引き返せぬ地点にまで達するかもしれない——もしすでにそうならなければ。ある決定的な環境的境界線が越えられると、人類はもはや逆にするのできない生き方を、逆にするよう強いられるかもしれない。あまりにも多くの害をもたらす、反生産的な行動傾向がすでに北を指している。

気象操作が多くの、恐ろしい、未知の、回復不能の、予想外の結果を生み出す可能性をもつのは、このような地球的なコンテキストにおいてである。それは、すでにバランスを失ってしまった物の多くを、一気に覆す引き金となるかもしれない。他のネガティブなフィードバックの環と協働することによって、気象操作は、この惑星のさまざまな下方スパイラルと大気圏の劣悪化を、加速させ、強化する働きをすることも考えられる。

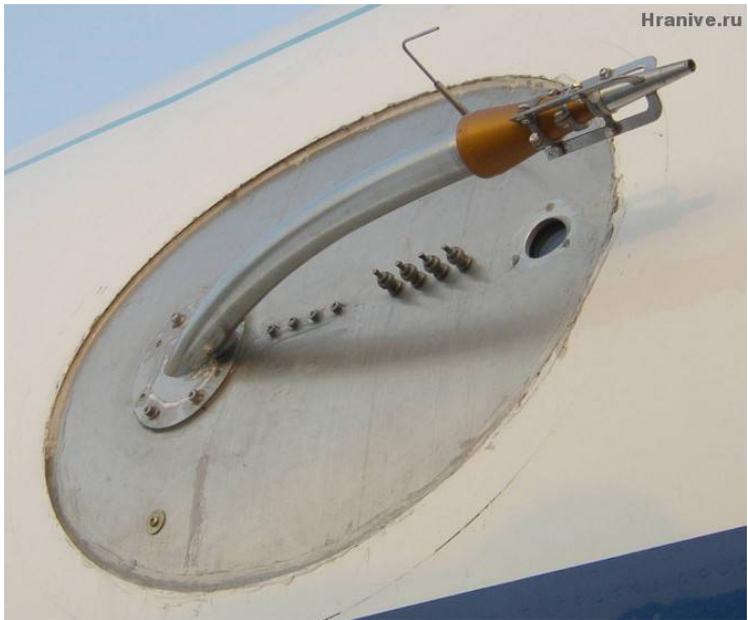
まさにそれこそが、それを**今**終わらせなければならない理由である！

強く推奨される読み物——

このような根本的に欠陥をもつ気象操作パラダイムが、なぜ、考え出されさえたのかを十分に理解するためには、次の論文が役に立つであろう：

Cosmic Convergence Accelerates Epochal Planetary Transformation

ケムトレイル散布装置の写真ドキュメンタリー









(浄化の日が近づいたとき、空に…蜘蛛の巣が張りめぐらされるであろう——ホピ予言)